



とらいあんぐる



2020 年 3 月

一音会ミュージックスクール発行

「成人の日」

長い年月が経っても、思い出すと心があたたかくなる、大切な思い出というものがあります。

私にもそんな思い出がいくつかありますが、その1つが、成人の日の思い出です。

私の成人の日のことは、今まで誰にもお話ししたことがありませんでした。

私の娘のキョウコも、今年の1月、成人の日をむかえました。それまでは、私自身の話をどこかですると、その話

がキョウコに伝わり、キョウコが自分の成人の日をどう過ごすかに影響してしまうと思ったため、話すことをしませんでした。

20歳の私は、大学2年生でした。

成人の日、私は朝から「ベートーベンはうす」にいました。

大学生の時、私は日曜日だけ、教室の受付とリトミックのアシスタントをしていたのでした。勉強を兼ねたアルバイトですが、実際にはあまり役に立っていませんでしたから、“見習い”といったところでしょうか。

当時、まだレッスンは受け持っていませんでした。ピアノやハタのレッスンを受け持つようになったのは、大学院に進学した時です。

昔は、成人の日は1月15日と決まっていた、私が20歳の年の成人の日は、ちょうど日曜日にあたっていました。

成人の日、どうするか、考えたことはありませんでした。母と相談したこともありません。

なぜなら、レッスンがある日だからです。いつも通りです。

そんな1月15日の日曜日、ある生徒さんのお母さまが、帰りぎわに、受付にいた私に話しかけられました。



「先生、もしちがっていたらごめんなさい。今日、成人式ではありませんか？」

正直、その瞬間、私は忘れていました。

「あ、そうでした」

「よろしいんですか？ 成人式にいらっしゃらなくて」

「レッスン、まだありますから・・・」

そのお母さまは、一瞬、困ったような顔をされ、お帰りになりました。

ところが、それから20分ほどして、そのお母さまが、また受付にいらっしゃいました。

手に美しい花束を持っていらっしゃいました。

「先生、ご成人、おめでとうございます」

そうおっしゃって、花束を私にくださったのでした。

きけば、椎名町の駅前のお花屋さんで花束を買い、戻ってきてくださったのです。

突然のことに胸がいっぱいになって、私はうまく言葉が出ませんでした。

よくおぼえていませんが、とっさのことで、「あ、どうも・・・」ぐらいしかいえなかったのではないかと思うと、自分の未熟さに歯ぎしりしたい思いです。

そして、お礼さえもうまくいえなかった私は、本当に若く、本当に未熟だったなあと思います。

振袖を着たわけでもなく、成人式に参加したわけでもなく、いつも通りの日曜日でしたが、私にとっては大きな意味のある、最高の成人の日だったと今でも思っています。

あきらかに半人前の私でしたが、一音会 T シャツを着て、他の先生たちに混ざり、日曜日の教室に身をおくことができました。

すっかり社会の一員のような気持ちでした。

そして、美しい花束をいただきました。

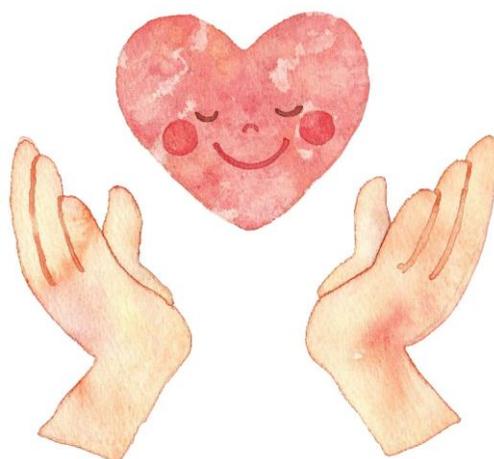
成人の日が来るたび、私はその花束を思い出します。

そのお母さまのことも、生徒さんのことも、思い出します。どうしていらっしやるかしらと、いつも思います。

忘れられない生徒さんのご家族は、たくさんいらっしやいますが、そのお母さまは、まちがいなくそのお一人です。

思えば一音会は、優しくあたたかなご家族の方に、ずっと支えられてきました。

そのことをはじめて感じたのが、あの成人の日だったように思います。



数十年経って思い出してなお、あたたかい気持ちになれるのは、感謝の思いがつきないからです。

あたりまえに振袖を着て成人式に参加していたら、こんな気持ちを経験することもなかったかもしれません。

今年、娘のキョウコは、振袖も着ず、成人式にも出席せず、一音会 T シャツを着て、「ショパンはうす」の受付をとめていました。

振袖を着るなども成人式に出るなど

もいっていませんが、何もかもが同じであることには、驚くばかりです。

未熟な身を、生徒さんや、ご家族の皆さまに支えていただいていることも、同じにちがいません。

いつか、キョウコが自分の成人の日を思い返した時、皆さまに支えられながら、役割を果たせたことを、誇りに思ってくれば、こんなに幸せな成人の日はないだろうと思うのです。

(江口 彩子)



◆新型コロナウイルスへの対応について

過去に例を見ない事態に直面しています。生徒さん、ご家族の皆さまの生活にも、大きな影をおとしていることと思います。

一音会が、ご批判を覚悟の上、あえて通常通り、レッスンをしております理由は、1つには、思い上がりと思われようとも、レッスンは不要不急であるとは考えていないからです。例えば、1日も休めない絶対音感のおけいこにおいて、2週間指導を止めれば、それだけで、絶対音感習得の成否を分けてしまう生徒さんが確実にいます。

そのかわり、感染拡大を防ぐため、細心の注意を払って、指導にあたらせていただいています。スタッフは、手指を消毒し、マスクを着用し、レッスン室の換気と、鍵盤やドアの取っ手の消毒につとめています。

また、生徒さん、ご家族の皆さまにも、手洗い、アルコール消毒、マスク着用等のご協力をお願いしています。一音会がレッスンをおこなう判断ができた背景には、一音会の生徒さんやご家族の皆さまなら、確実にご協力くださるだろうという信頼がありました。引き続き、ご協力をお願いいたします。

この「とらいあんぐる」紙上でも、毎年、インフルエンザ流行期には、感染予防のためのお願いを載せ、皆さまにお願いをしてきました。スタッフの間では、これまでもずっと、インフルエンザ感染予防に細心の注意を払ってきました。

インフルエンザは怖くないかといえば、決してそんなことはなく、2018年の1年間で、日本におけるインフルエンザによる死亡者数は、3325人です。特に子どもにとっては、インフルエンザが、より脅威です。私どもは毎年、インフルエンザにそなえ、できるかぎりのことをしてきました。今回、さらに気をひきしめて、できることをすべて、おこなっております。

ただし、世の中全体が非常時モードの中、ご家庭により、さまざまなご事情やお考えがあることと思います。レッスンをお休みされた場合は、可能なかぎり、柔軟に対応させていただきます。

教室は、原則として補講をお約束しておりませんが、担当スタッフが可能な場合は、補講をさせていただくこともございます。また、通信のコースでご対応させていただくことも可能です。ご相談ください。

◆プリドノフ先生ご夫妻の来日が中止になりました

3月に、客員教授のプリドノフ先生ご夫妻をお招きする予定でございました。レッスンとコンサートとオーディションについて、すでに皆さまにお知らせをしてきました。このうち、メインはコンサートでした。

しかし、ご存じのように、政府よりイベント自粛の要請があり、コンサートを開催することがかなわなくなってしまいました。楽しみにして下さった皆さまには、本当に申し訳ない事態となりました。心からお詫び申し上げます。

プリドノフ先生は、来日の延期を提案していただきましたが、いつまで延期すれば良いのか分からないことに加え、3月のオーディションに照準をあわせて準備をしてきて下さった生徒さんにとって、直前になっての大幅延期は不可能と判断いたしました。今回は、来日そのものを中止といたします。

プリドノフ先生ご夫妻は、今回は、2021年3月に、来日します。今年は残念でしたが、ぜひ来年3月のコンサートを楽しみにしててください。

◆「ジュニコン・オーディション」をおこないます

プリドノフ先生関連イベントのうち、「ジュニコン・オーディション」だけは、実施することといたしました。

ご準備くださった生徒さんには、予定通り、ご参加いただきます。オーディション合格者が出演する「ジュニア・コンサート」も、予定通りです。「ジュニア・コンサート」は、4月27日（月）夕方、「ゆめりあホール」でおこないます。

「ジュニコン・オーディション」は、新型コロナウイルス感染予防のため、今回に限り、非公開とさせていただきます。審査員以外は、生徒さんとそのご家族、担当の先生のみ、同室します。感染防止に細心の注意を払い、安全第一でおこないたいと思っています。

審査員は、以下の5名です。

芦田くみ・谷口秀樹・玉井美子・夏目かおる・松山優香

◆3月の「うたくらぶ」をお休みさせていただきます

グループレッスンであることと、マスクをしながらの受講が難しいことから、「うたくらぶ」の3月のレッスンは、お休みとさせていただきます。ご迷惑をおかけしますこと、本当に申し訳ございません。

どこかの月で、2回受講していただく形で、フォローさせていただきます。

◆「ピアノ・トライ」と「ル・コンセール」と「フォルテの会」が終わりました

今となっては、遠い昔のことにように思えます。よくすべてのイベントを無事に終えたと思います。あの時は、今の状況を予想もしませんでした。

「ピアノ・トライ」は特に、欠席の方が例年に比べ、非常に少なく、皆さんが元気でおいでになれたことを喜んだものです。もうはるか昔のような気がいたします。

本当にたくさんの方にご参加いただきました。「ル・コンセール」も、「フォルテの会」も、大盛会でした。ご参加をありがとうございました。

また、心おきなく、皆さんと集って、音楽を楽しむ場を持てる日を、心待ちにしています。



◆新年度時間割をお組みしています

新年度変更希望表のご提出に、ご協力をありがとうございました。現在、みなさまからお出しいただいた変更希望表をもとに、4月からのレッスン時間割を作成しております。

曜日、時間帯、コースについて、変更を希望された方の多くには、時間割に関するご相談のお電話を差し上げているところだと思います。少しでも、お一人お一人の生徒さんのご都合にかなう時間割となるよう、努力を続けております。

しかし、物理的にご希望をかなえることが難しい場合もあり、その点は、どうかご理解ください。たとえば、曜日や時間帯を変更される場合、以前からその日時にレッスンを受けていらっしゃる生徒さんが優先されます。そのため、「そのままの担当で」とご希望をいただいても、同じ担当でお組みできるとはかぎりません。

また、お電話を差し上げた時に、お留守だった場合、留守番電話の設定をしてくださっている方には、極力、メッセージを残すようにしています。お手数ですが、ご確認をお願いいたします。

また、最近は留守番電話の設定をしていらっしゃる方も多く、なかなか用件をお伝えできない場合もあります。着信をごらんになって、可能なら本部まで折り返しお電話いただけますと、たいへん助かります【本部：03-5966-7711】。

と申しますのも、同じ時間帯、同じ担当で希望される生徒さんが2人以上いらした場合は、同じ条件であれば先着順となり、先に連絡をくださった生徒さんから決まってしまう場合があります。人気の高い曜日や時間帯で、結果的に、連絡がつきにくい方のご希望が通りにくくなっています。日中のお電話が難しい方は、メールでのご連絡でもかまいません。ご面倒かと思いますが、ご協力をよろしくをお願いいたします。

以前にお出しくださった変更希望表に変更が出た場合にも、なるべく早く、ご連絡ください。



◆新時間割を電話でお知らせします

新時間割は、新年度からの担当が、3月28日(土)または29日(日)に、主に電話で、みなさまにお知らせします。今年からは、メールアドレスをお知らせくださっている生徒さんに、メールでお伝えすることもございます。

もし、4月1日になっても何も連絡がいかない場合は、何かの手ちがいが起こっているかもしれませんので、お手数ですが、生徒さんのほうから、本部まで、お電話ください。

この期間、ご旅行などでお留守にされる生徒さんは、携帯電話の番号を、事前にお知らせください。こちらからメールやFAXで連絡をさしあげた場合は、ご面倒ですが、受信したことをお知らせいただけますでしょうか。

ご協力を、よろしくお願いします。

◆タローズハウスの衣類をショパンはうすで販売しています

「ひびきホール」の建物1階にあったカジュアルウエアのお店「タローズハウス」が2月をもちまして、閉店いたしました。長い間のご愛顧に、心から感謝しています。

在庫商品を、300円均一（一部500円均一）で、「ショパンはうす」1階にて、投げ売っております。サイズがあえばお買い得です。

80センチ～160センチの子供用衣類とおとなの衣類、服飾小物を扱っています。商品がなくなり次第、終了とさせていただきます。お時間が許せば、のぞいてみてください。



◆新年度のレッスン開始日

新年度最初のレッスン日は、次のようになります。

月曜日・・・・・・・・・・ 4月 6日

火曜日・・・・・・・・・・ 4月 7日

水曜日・・・・・・・・・・ 4月 8日

木曜日・・・・・・・・・・ 4月 9日

金曜日・・・・・・・・・・ 4月10日

土曜日（毎週）・・・・・・・・ 4月11日

土曜日（偶数週）・・・・・・ 4月11日

土曜日（奇数週）・・・・・・ 4月18日

日曜日（月1回）・・・・・・ 4月19日

日曜日（月2回）・・・・・・ 4月12日

日曜日（月3回）・・・・・・ 4月12日



みなさま、良い春休みをお過ごしください。新年度も、引き続き、どうかよろしく
お願いいたします。

*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp

電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。